

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	コンスタンティン・カキュシス駐日ギリシャ大使とお会いして
Author(s)	浮田, 三郎
Citation	プロピレア , 26 : 80 - 81
Issue Date	2020-12-30
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050163">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050163</a>
Right	Copyright (c) 2020 日本ギリシア語ギリシア文学会
Relation	



## コンスタンティン・カキュシス 駐日ギリシャ大使とお会いして

浮田 三郎

日本ギリシア語ギリシア文学会会長

今年 2020 年の夏、コンスタンティン・カキュシス駐日ギリシャ大使（His Excellency Mr. Constantin CAKIOUSSIS）にお会いし、当学会の活動状況をご報告する機会がありました。

8 月 4 日ごろ、広島大学の事務からギリシャ大使館に連絡をするようにとの連絡があり大使館に電話しました。大使館の秘書によるとカキュシス大使が 8 月 6 日に行われる広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式典（以下、平和祈念式典）に出席した後、当学会について活動の近況を聞きたいと希望されていることが分かりました。

8 月 6 日に、平和祈念式典が終了したあと、午前 10 時半頃、平和公園に近いリーガロイヤルホテルでお会いしました。場所を広島駅のグランビアホテル内のカフェに移し 11 時ごろから 1 時間 30 分ぐらい、コーヒーを飲みながら談笑しました。大使は昨年も平和祈念式典に出席されたそうですが、今年は新型コロナウイルス COVID-19 の影響で式典の様子が大分違っていたそうです。

大使から、当学会の生い立ちや活動の内容、会員の人数、活動拠点が広島にある理由など、また日本ギリシャ協会と異なる独自性についても尋ねられました。当学会に寄せられる大使の興味は尽きないようで、広島大学におけるギリシア語や文学に関する教育・研究についても話題に上りました。

その折、学会誌『プロピレア』の最新号第 25 号と第 23 号をお渡しして、「この学会の生い立ちが書かれています。ただし日本語ですが…」と言うと、「秘書に訳してもらおう」と笑いながら受け取られました。私が広島大学に勤務していた頃は東京にある大使館に時々伺ったり、『プロピレア』を持参したこと、また

その後も大使館へ毎号お送りしていたはずだとお伝えしましたが、寄贈は第 19 号以降中断していたようです。

最後に大使は当学会に対して何かできることがあれば援助もしたいとおっしゃってくださいました。話は尽きることがありませんでしたが、午後、大使はお好み焼きの見学と試食などの予定が入っており、お別れすることになりました。